

令和3年10月2日(土) 大阪市立高等学校総合体育大会 剣道の部  
修道館にて。第1試合場の審判員を務める。開会してしばらくは  
3人の審判員により休みなしで審判にあたる。途中から4人になり  
ホッとしたが、一生懸命試合をする選手のために真摯に審判しようと努める。男子の試合場だったので、都工の選手の試合は全部見ることができた。この大会への意気込みは相当のものであっただけに集中したい試合を展開していた。男子個人では、橋本君が決勝で接戦の結果惜しくも第2位。男子団体では、準決勝で桜宮高、決勝で汎愛高に勝利しての優勝。長年都工に勤めていて1度もなかった快挙、大きな価値あるものと思う。閉会后、部員にこれまでの努力を讃える。一方で、まだまだこれから右肩上がりの途中であること、勝って嬉しいのは当然であるが、有頂天にならぬことを諭して帰路につく。



令和3年10月2日(土) 牧野明剣館

三中にて。緊急事態宣言が解除されて稽古再開、8月下旬以来の稽古、感慨もひとしお。基本稽古、地稽古とも、正しく、大きくを心がけて行う。剣道の稽古が毎日の生活にいい刺激を与えてきていることを実感する。

令和3年10月9日(土) 牧野明剣館

三中にて。各自で準備運動の後、皆で素振り。始礼の後、面を着けて基本稽古。いつものメニューを一通り行う。少し足が重い、正確に足を捌いて、いい基本ができたと思う。休憩。お互いの情報交換。思えば来年4月に明剣館の創立35周年を迎える。どうしたものか。再び面を着けて地稽古(回り稽古)。2分半程度で1周。地に足の着いたいい攻防ができた。面を外したところで、光崎さんと二森さんと剣道形。各々の段階でいい形ができています。終礼で、速さは置いておいて、正しく、大きくを心がけたいことを話す。

令和3年10月16日（土） 大道連審判講習会

総合体育館武道場にて。講師の佐藤誠先生、森文男先生による講習会。多くの方々の出席。感染症対策の特別ルールで大会を実施する中で滞りなく審判を行うべき責任の大きさの表れと思う。佐藤先生の講話および実技指導は学ぶところが多く審判の責任の重さをあらためて認識し直して身の引き締まる思い。

令和3年10月16日（土） 牧野明剣館

三中にて。剣道形の稽古。私は菊池さんと打太刀で行う。続いて二森(奥様)さんと仕太刀、打太刀の順で行う。頭真っ白で行って次は何本目か失念する時があり反省。面を着けて基本稽古、地稽古。地稽古の最中に汗で自分のマスクが湿って呼吸しにくくなる場面があった。急ぎ中止、面を外してマスクをとると実にしっかりと深呼吸できた。終わりに、二森(奥様)さんと菊池さん、二森君と私で審査を想定した立合。1分の短さ、その中で自分の稽古の成果を出す難しさを実感。

令和3年10月17日（日） 枚方秋季総体実行委員会

渚体育館会議室にて。冒頭挨拶「第1に感染者を出さぬように最善を尽くす。第2に制約のある中で滞りなく大会を運営して適正に試合を実施し続けること。」と話す。事務局で準備してもらった資料をもとに運営要領、役割分担を確認、準備を進める。参加の実行団体の協力体制に感謝、当日の大会が無事に運営されることを願う。

令和3年10月23日（土） 牧野明剣館

三中にて。準備体操、素振り。日頃からきっちりと行っておきたい。面を着けて、いつも通り基本稽古、地稽古。